

## 税金はありがたい

一般社団法人日本想続協会  
代表・税理士 内田麻由子

### ●ドアチェーン事件

そのころ私は中学生の娘と世田谷に住んでいました。仕事を終えて夜10時ころ帰宅し、カギを開けて中に入ろうとすると、内側からチェーンがかかっています。「いつもチェーンなどしたことがないのに、どうしたのかな」と思いつつ、インターホンを鳴らして娘を呼びましたが、ぐっすり眠ってしまっているのか、一向に出てきてくれません。ドアをドンドン叩き、ドアの隙間から娘の名前を叫んでもまったくダメ。

「どうしよう。朝までここで待つのはちょっと辛いなあ……」

私は悩んだあげく、勇気を出して携帯から110番に電話しました。

「どうしました？」

「あの……実は、かくかくしかじかで……」

事情を説明し、しばらく待っていると、お巡りさんが来てくれました。しかもパトカー1台に4人と自転車で2人の合計6人ものお巡りさんが、内田家のドアチェーン事件ごときに駆けつけてくれたのです。これにはさすがに恐縮しました。

わが家は、3階建ての賃貸マンションの3階でした。

年配のお巡りさんが、若いお巡りさんに、

「おまえ屋根の上に登って、向こう側からベランダに降り、娘さんを起こしてこい」と言いました。

すると若いお巡りさんは、

「いや～、自分はそんな危険な任務はできないっすよ」

と言います。

世田谷はなんて平和なんだろう……。

「しかたがない。奥さん、ドアチェーンをぶった切るしかないですな」

そんなことをしたら、あとで弁償しなくてははいけません。

「あの～、なるべくお金のかからない方法をお願いします……」

すると、1人のお巡りさんが、ドアの隙間からドライバーを差し込んで、器用にチェーンのネジを外してドアを開けてくれました。

「本当に助かりました。ありがとうございました」

市民の味方である6人のお巡りさんたちは、緊急かつ重要な(?)任務を無事に終えて、さっそうと去っていきました。いやはや、まさかこんなことで警察のお世

話になるとは思いませんでした。

今年の夏は、各地で大雨による災害が相次ぎました。広島土砂災害では、大勢の警察官、消防隊員、自衛隊員が、泥だらけになりながら懸命の救助活動をしている姿をテレビでご覧になった方も多いと思います。その費用は、すべて私たちの税金でまかなわれています。税金ってホントにありがたいものですね。

## ●「恩返し」と「恩送り」

「孝行のしたい時分に親はなし」——苦勞して育ててくれた親にやっと恩返しができるようになったときには、親はもうこの世にいない。しかし、親に恩返しはできなくても、親からしてもらったのと同じように、愛情を込めて自分の子どもを育てることで、親のご恩を子へ「恩送り」することができます。

税金も「恩返し」と「恩送り」で考えたいのです。

たとえば、いま生活保護を受けている人も、生まれてから一度も働いたことがないという人は少ないでしょう。ほとんどの人は、若いときには元気に働いて税金を納めていたはず。その人が税金を払ってくれたおかげで、子どもだった私は教育を受けることができました。いま社会人になった私が税金を払うことで、生活保護を受けている人へ「恩返し」ができるのです。

いまのお年寄りが若いころ一生懸命に働いて税金を払ってくれたおかげで、私は教育を受けることができました。いま社会人になった私が税金を払うことで、日本の将来を担う子どもたちへと「恩送り」ができます。そしてまた、いまの子どもたちが大人になり、働いて税金を払うことで社会を支えていくのです。

その人のいまの状態だけを見て判断するのではなく、もっと長い時間軸で考えたいものです。

## ●情けは人の為ならず

よく「情けは人の為ならず」といいます。これは「甘やかすと本人の為にならない」という意味ではないですね。「人に親切にすれば、回りまわっていつか自分に返ってくる」と一般的には解釈されています。私も母からそう言われて育ちました。でももう一歩進めて考えると、たとえ何の見返りがなくても、「人にしてあげられること自体がすでに幸せなこと」ではないでしょうか。心に余裕がなければ、人のことを思いやることもできませんものね。

税金にも同じことが言えます。「生活保護や失業保険は甘えているだけだ。自己責任だ」という人がいますが、果たしてそうでしょうか。私たちは、いまは健康でも、心身の病気や事故や災害など、いつどんな状況になるかわかりません。「いま税金や社会保険料を払っておけばいつか自分に返ってくる」と多くの人は考え、渋々ながら払っています。

しかし先ほどの考え方に立てば、「税金を払えること自体が幸せなこと」ではないでしょうか。収入や資産がなければ税金も払えません。「税金のお世話になる生活」と「税金が払える生活」と、どちらがいいでしょうか。もちろん、できる節税はしっかりしてきちんと納税した上で、税金の使い道に目を光らせることが大切なのは言うまでもありません。ニッポン株式会社の株主として、お金も出すけど口も出していきましょう。

